

2024-2025

皆さまに感謝と年間の活動報告

ACTIVITY REPORT

発行 令和7年11月 第2号
志真会 安達しんりゅう(無所属)
Address: 滑川市堀江 56-3
Phone: 475-6804



2
期目の責任。
まっすぐ、
真剣に。

- ご挨拶 -

今年も残りわずかになりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

振り返りますと、この4年間は多くの学びと出会いがありました。市議会議員として市民の皆様いただいた励ましや意見が、私の活動を支えてくださったことに感謝申し上げます。

2期目もスタートいたしました。引き続き襟を正して頑張っておりますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

さて、令和7年9月定例会におきまして、補正予算額2億6,779万円、15議案が可決されました。

市民の皆様に必要な不可欠な重要な予算もたくさんありますので、ご確認ください。

令和7年度 9月一般会計補正予算: 2億6779万円 主な施策

除雪対策事業費として (グレーダー・ホイロローダー除雪機購入費)	7,200万円
豊かな農村づくり推進費・草刈りの人手不足の解消として ハンマーナイフモア等除草機械補助など	521万円
富山地方鉄道のあり方を検討する実態調査費市負担金	150万円
物価高騰対策費国の補助金として、障がい福祉、介護サービス事業者 定額減税の調整給付金、保育所施設などに	8,595万円
その他	合計 2億6779万円

滑川蒲鉾跡地で、漁師の方々と滑川市が共同で鮮魚の販売イベントなどはできないか。

- 水野市長 -

これまでに開催された地域水産業再生委員会や漁業者等との懇談会において、水産業の振興について意見交換を行っており、漁業者側からは旧滑川蒲鉾を活用して滑川漁港で水揚げされた水産物の直売イベントを開催したいという意見もある。開催時期や内容が決定した際には、PR等について協力したい。

若手が参入しやすい農業にできないか。また、既存農業者に手厚い支援は考えられないか。

- 水野市長 -

若手の参入はもちろんのこと、農作業の効率化、省力化を進めていかなければならないと考えている。農業経営における負担が大きいのは農業機械や設備に要する経費であり、より有利な国や県の補助制度の情報を農業者へ積極的に提供したい。異常気象やエネルギー・農業用資材の高騰等、依然として農業は厳しい状況に置かれていることから、農業者の声をよく聞きながら、県やJAアルプス等の関係機関と連携し適宜支援を考えていきたい。

ゲートボール場の用途を広げ、多くの方が使える施設に変更できないか。

- 石川健康福祉部長 -

市民から用途拡大の要望もあることから、多目的な活用ができないか検討してきた。ペタンク、テニス、フットサル、トレーニング、ドッグランなど様々な案があったが、使用器具による照明の破損や屋内ゲートボール場にゲートが埋め込んであり、安全面での懸念があり実現に至らなかった。用途廃止後の敷地、建物の活用については、様々な意見を聞きながら検討したい。

タブレット端末の納入から利用までの具体的なスケジュールは。

- 上田教育委員会事務局長 -

新たなタブレット端末の導入については、県主体の共同調達によって導入することとしており、令和7年7月末と9月末の2回に分けて約半分ずつ納入される予定である。アカウントの初期設定や、現在使用しているソフトの設定の必要があるため、各学校と協議して、授業に支障が出ないように考慮した上で進めていく予定である。

市内では東加積小学校のみ空き教室を利用して放課後児童クラブにしている。南部・寺家・北加積・田中小学校も空き教室を利用して放課後児童クラブをできないか。

- 上田教育委員会事務局長 -

防犯対策の整備など様々な課題があり、現時点では空き教室の利用は難しい。東加積小学校の場合は、普通教室棟とは別に、体育館棟の1階に裁縫室として使っていた場所があり、もともと外からの出入り口があったため、既存の出入り口を使用することができた。南部・寺家・北加積・田中小学校については、空き教室の部分も併せて専用の出入り口等の確保なども含め、なかなか難しい現状である。

地区公民館の不具合を修繕し、快適に利用できるようにすると未定稿に書いてあったが、優先される修繕内容について問う。また、中加積地区公民館は施設自体傾いていることを度々担当課に伝えているが、なぜ修復などの対策を講じないのか。

- 上田教育委員会事務局長 -

地区公民館の損傷箇所等の不具合への対応は、人の生命、身体、財産に危険を及ぼす、またはそのおそれがあるものについては最優先で対応することとしている。中加積地区公民館は、昭和56年に建設され、平成15年に改修を行った。当時から数年がたち、不具合の状況も変わってきているおそれもあることから、施設全体の傾きであるのか、接続箇所の床面の不陸であるのか改めて調査などして現状把握する必要がある。

市道の白線が至るところで消えている。昨年より白線引き直しの予算が半分になっている理由を問う。

- 上田教育委員会事務局長 -

令和7年度予算について前年度から490万円の減額になっているが、この減額分は令和6年度に実施した市道滑川中央線の引き直しによるものである。白線の引き直しについては、交通安全上必要なものと認識している。その都度現地を確認の上対策の必要性を検討し、道路管理者と情報共有し、優先度の高い箇所から順次設置している。今後、中央線を引いた主要な市道の引き直しについても当然発生してくるものと考えている。

市民交流プラザあいらぶ湯の給湯設備更新工事の進捗を問う。

- 石川総務部長 -

市民交流プラザあいらぶ湯の給湯設備については、平成19年のオープンから18年が経過しており、これまで修繕やオーバーホールを行い維持管理してきた。今回、経年劣化に伴い不測の事態が想定されることから、更新工事を実施する。先日、入札において落札者が決定した。今後、工事請負契約を締結し、順次進める。工事に際しては、駐車場の一部を工事に使用する必要があるため、隣接する商業施設関係者とも十分協議しながら、商業施設や市民交流プラザの利用者に不便をかけないよう配慮して実施したい。

私立認定こども園及び私立保育園に対して国の交付金を活用し、空調設備更新等修繕工事費が提案されている。詳細を問う。

- 高倉教育委員会事務局長 -

本会議に予算計上している保育所等施設整備補助金については、同朋認定こども園及び浜加積保育園の大規模修繕を対象としている。同朋認定こども園は保育室に設置されている空調設備の老朽化による更新、及び保育室等の床が沈下していることから修繕する。浜加積保育園は、老朽化により保育室や遊戯室の床のささくれが目立つことから、幼児の安全確保のため既存の床にクッションフロアを張る施工を行う。国2分の1、市4分の1、事業者4分の1の負担割合に応じ国と市で補助する。

ほたるいか海上観光運航率が5割を切る中、多くの観光客を呼び込むには2隻体制に戻す検討はできないか。

- 長崎産業民生部長 -

ほたるいか海上観光の2隻体制については、市で保有する観光遊覧船キラリンと、一般社団法人富山湾マリンの観光船「若潮」を借りて実施してきたところである。船員確保ができていないことから、氷見沖クルージング自体も休業が続いている状況である。若潮の船員確保に現在目途が立っていない、加えて滑川沖を航行するために、法改正がありそれに伴い改良型いかだ等の積載が追加で必要になるなど課題がある。この課題等共有しながら、2隻体制の復活に向け協議を継続していきたい。

観光遊覧船キラリンのエンジンの不具合で運航が取りやめになっている。現在どのような状況か、いつ直るのか問う。

- 長崎産業民生部長 -

観光遊覧船キラリンについては、8月1日の運航中にエンジンがオーバーヒートしたため、急遠帰港し、修理を行った。その後、エンジンの症状は収まったが、冷却水の漏れが確認されたため、改めて修理が必要になった。現在は運休している。再開時期は、修理に要する費用が現在判明しておらず、現時点では見通しを立てられない状況である。

富山湾岸クルージングや来春のほたるいか海上観光に影響はないのか問う。

- 水野市長 -

唯一無二のほたるいか海上観光を来春行わない選択肢はない。本市の観光の目玉であるほたるいか海上観光は来年もぜひ実施したいと考えており、富山湾岸クルージングについても今後続けたいと考えている。こうした考えの下、修理が困難な場合は代替船の確保も含めて検討していきたいと考えており、来年の海上観光には影響のないよう進めていく。

滑川市消防団は、火災、災害時に必要だと思われるが、改めて市の見解を問う。

- 石川総務部長 -

消防団は、火災や大規模な自然災害時に常備消防、これは消防署であるが、消防署だけでは対応しきれない活動を補い、住民の避難誘導や初期消火、救助などの活動を行う地域防災を担う要と考えている。防火指導や巡回活動を行う地域コミュニティの活性化にも貢献しており、消防団は地域に必要不可欠な存在である。

機能別消防団員の確保に努めるとあるが、どのような役割を果たすのか。

- 石川総務部長 -

機能別消防団員制度については、消防団員減少における新たな人材確保に向け、国が導入を推奨する制度である。従来の消防団員が消防団活動全般を担うのに対し、機能別消防団員は特定の任務に限定し、活動や役割を担うこととされており、従来の消防団員の活動を支援すること、消防団の組織力の充実、強化を図るものとして、火災現場における従来の消防団員の後方支援活動などを想定しているところである。



-新潟県阿賀野市- GPS 除雪管理システムについて

阿賀野市では GPS 除雪管理システムを導入し、除雪車両の位置情報をウェブサイト上に公開することで市民が現在の除雪車両の位置を確認できるようになった。これまで除雪終了後に除雪業者が日報や請求書の提出を行っていたが、位置情報などをもとにシステムが、「回送中」「稼働中」などを分析するため、「自己申告だった請求」が「実績に基づく請求」となり、除雪費用の縮減を図れるとのことである。業者からの日報を市の職員が確認しており、令和5年度では1回の出動あたり4時間17分の時間外勤務があつたが、システム導入後の令和6年度では1回の出動あたり19分と、時間外勤務時間の縮減が図られている。



-新潟県十日町市-

除排雪経費に係る基本料金支払い制度について

除排雪経費に係る基本料金支払い制度は、各業者の平年の実績などを基に、その7割に相当する額をシーズン前に基本料金として支払い、実績に応じた精算はせず、払いきりとしている。出動回数が多く、基本料金を超えた場合は、その後の除雪単価は9割の単価で支払うものである。除雪業者は除雪オペレーターの高齢化から新たな担い手を確保する必要があること、また、除雪車両の点検、整備に高額の費用が掛かるといった事情があった。また、十日町市については市の面積が広く、土木費決算額60億円に対し、道路除排雪経費が20億円と、約3割に達しており、除排雪経費を削減したいという事情から創設されたものである。

2024-2025 Summary

令和7年9月定例会 一般質問 安達真隆議員
なめりかわ市議会だより 220号



令和7年6月定例会 一般質問 安達真隆議員
なめりかわ市議会だより 219号 8月1日

令和7年3月定例会 一般質問 安達真隆議員
なめりかわ市議会だより 218号 5月1日



令和6年12月定例会 代表質問 安達真隆議員
なめりかわ市議会だより 217号 2月1日

編集後記

日頃より皆様方からの温かいご支援を賜り、ありがとうございます。

4年間を通して、様々な課題に直面してまいりましたが、市民の皆様の要望を少しでも多く市当局に伝え実行し、提案してまいりました。

また、12月議会の委員会構成の話し合いで、議員定数の削減などの課題を、提言し議会定数等検討特別委員会を設置すべきと強く要望しています。

2期目の任期も始まりました、引き続き市民の皆様の声が届きやすくなる環境づくりに努めてまいります。

今後とも、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



志真会

滑川市議会議員 安達 真隆